

アスコルビン酸 250mg/g 顆粒

溶出試験 本操作は直射日光を避け、遮光した容器を用いて行う。本品約 1g を精密に量り、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始 15 分後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 $0.45\mu\text{m}$ 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 5mL を正確に量り、崩壊試験法の第 1 液を加えて正確に 200mL とし、試料溶液とする。別にアスコルビン酸標準品をデシケーター（シリカゲル）で 24 時間乾燥し、その約 28mg を精密に量り、水を加えて溶かし、正確に 100mL とする。この液 5mL を正確に量り、崩壊試験法の第 1 液を加えて正確に 200mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、崩壊試験法の第 1 液を対照とし、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 243nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の 15 分間の溶出率が 85% 以上のときは適合とする。

アスコルビン酸 ($\text{C}_6\text{H}_8\text{O}_6$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 900$$

W_S : アスコルビン酸標準品の量 (mg)

W_T : アスコルビン酸顆粒の秤取量 (g)

C : 1g 中のアスコルビン酸 ($\text{C}_6\text{H}_8\text{O}_6$) の表示量 (mg)

アスコルビン酸標準品 アスコルビン酸標準品 (日局)。